

2027 年度

埼玉大学大学院人文社会科学研究科
博士前期課程

学 生 募 集 要 項

文化環境専攻

グローバル・ガバナンスコース

現 代 社 会 コ ー ス

哲 学 歴 史 コ ー ス

ヨーロッパ・アメリカ文化コース

国際日本アジア専攻

日本アジア文化コース



この募集要項は、埼玉大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）のうち、文化環境専攻と国際日本アジア専攻・日本アジア文化コースに関するものです。

本研究科における国際日本アジア専攻・日本アジア経済経営コース、経済経営専攻及びダイバーシティ科学専攻の募集については、別冊の募集要項をご参照ください。

人文社会科学研究科 アドミッション・ポリシー

人文社会科学研究科（修士課程・博士前期課程）では、次のような人が入学することを望んでいます。

文化環境専攻では、人文学を中心に深く幅広い研究能力を養うことをめざす人、国際的な視野から文化・歴史・社会を洞察し、社会で活躍できる高度専門職業人をめざす人。

国際日本アジア専攻では、国際的視野からの日本とアジアに関する研究能力を養うことをめざす人、日本とアジアの文化・歴史・社会・ビジネスを理解し、国際的に活躍することをめざす人。

経済経営専攻では、社会において抱いた問題意識等を、大学の知との融合によって発展させ、理論的かつ実践的に解決することをめざす人。

ダイバーシティ科学専攻では、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン：多様性・公平性・包摂性（以下「DEI」という。）の実践の創造に関する高度な知見を修得し、研究能力を養うことを目指す人、社会生活における諸問題を DEI の観点から理解し、その実践的解決を目指す人。

人文社会科学研究科（修士課程・博士前期課程）では、上記の目標に適性をもつ人を受け入れるために、次のような入学試験を実施します。

文化環境専攻及び国際日本アジア専攻・日本アジア文化コースでは、面接、研究計画書、研究業績等の総合審査によって判定します。ただし、第1回入試の一般・社会人・外国人留学生入試では学力検査（専門科目の筆記試験）も行います。

国際日本アジア専攻・日本アジア経済経営コース及び経済経営専攻では、面接、研究計画書、研究業績等の総合審査によって判定します。なお研究計画書は、予定している研究テーマの説明、これまでの準備状況、入学後の研究計画の記載を必要とします。

ダイバーシティ科学専攻では、面接、研究計画書、研究業績等の総合審査によって判定します。ただし、一般・社会人入試では学力検査（専門基礎知識を確認する論文試験など）も行います。

目 次

1. 募集人員等	1
2. 出 願 資 格	2
(1) 一 般 入 試	2
(2) 社 会 人 入 試	2
(3) 外国人留学生入試	3
(4) 社会人推薦特別入試	3
(5) 国際協力特別入試	3
(6) 教員派遣特別入試	3
(7) 協定大学推薦留学生特別入試	4
(8) 英語による教育プログラム (MA Program) 特別入試	4
3. 出 願 手 続	5
(1) 出 願 方 法	5
(2) 出 願 期 間	5
(3) 提 出 書 類	5
(4) 出願書類送付先	8
(5) 注 意 事 項	9
4. 入試方法ならびに入試日程	10
【第1回入試】	10
【第2回入試】	11
5. 合格者発表	12
6. 入 学 手 続	13
7. 出 題 内 容	14
(1) 専攻・専門分野別の筆記試験等の出題内容 (第1回入試)	14
(2) 専攻・専門分野別の面接等の内容 (第1回、第2回入試共通)	16
* 出願資格⑨～⑭に関する出願資格審査について	17
* 障がい等のある入学志願者の事前相談について	18
* インフルエンザ等罹患者への対応について	18
* 入試情報の開示について	19
* 個人情報の保護について	19
* 安全保障輸出管理について	19
* 研究計画書の書き方について	20
* 長期履修学生制度について	21
* 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の実施について	21
* 教育職員免許状 (専修免許状) について	21
* 研究科教員の主な研究領域	22

所定用紙 25

志願票（第 1 回入試用）
志願票（第 2 回入試用）
受験票・写真票（第 1 回入試用）
受験票・写真票（第 2 回入試用）
推薦書（社会人推薦特別入試用）
在外活動証明書（国際協力特別入試用）
履歴書（外国人留学生入試用）
入学試験出願資格個別審査申請書
収納証明書貼付用紙
入試情報開示申請書
コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

1. 募集人員等

専攻名	募集人員 ※1	コ ー ス	専門分野	入試区分	入試日程		
文化環境専攻	17名	グローバル・ガバナンスコース	国際関係論	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試 社会人推薦特別入試 国際協力特別入試 教員派遣特別入試 協定大学推薦留学生特別入試	【第1回入試】 ・ 出願期間 2026年6月15日(月) ～6月24日(水) ・ 試験日 2026年7月25日(土) 7月26日(日) 【第2回入試】 ・ 出願期間 2027年1月4日(月) ～1月14日(木) ・ 試験日 2027年2月6日(土) 2月7日(日)		
		現代社会コース	人類学地理学				
			社会学・心理学				
		哲学歴史コース	哲学				
			歴史学(西洋史・考古学)				
			芸術論				
		ヨーロッパ・アメリカ文化コース	欧米文化				
国際日本アジア専攻	34名	日本アジア文化コース	日本語学				
			日本文学				
			東アジア文化				
			歴史学(日本史・東洋史)				
		日本アジア経済経営コース※2	経済学・経営学・会計学・法学・政治学・行政学・公共政策				
経済経営専攻	19名	経済経営コース※2	経済学・経営学・会計学・法学・政治学・行政学・公共政策			別冊の募集要項をご参照ください。	

※1 募集人員は、各コース及び各入試区分の合計です。また、第1回入試及び第2回入試を合計した人数です。募集人員には英語による教育プログラム(MA Program)特別入試の人数を含みます。

※2 国際日本アジア専攻・日本アジア経済経営コース及び経済経営専攻の学生募集要項については、別冊の募集要項をご参照ください。

2. 出願資格

(1) 一般入試

次のいずれかに該当する者

- ① 日本の大学を卒業した者及び 2027 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学等において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに学位を授与される見込みの者
- ⑦ 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑧ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑨ 大学に 3 年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者（※）
- ⑩ 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者（※）
- ⑪ 外国の大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者（※）
- ⑫ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者（※）
- ⑬ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めた者（※）
- ⑭ 個別の入学試験出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者（※）

※⑨～⑭で出願しようとする者については、あらかじめ個別の入学試験出願資格審査を行います。「出願資格⑨～⑭に関する出願資格審査について」（17 ページ参照）の書類を次の期間に本研究科に提出してください。審査結果は個別に通知します。

・第 1 回入試：2026 年 6 月 1 日（月）～ 2026 年 6 月 8 日（月） 必着

・第 2 回入試：2026 年 12 月 1 日（火）～ 2026 年 12 月 8 日（火） 必着

出願は郵送のみとし、窓口では一切受け付けません。

(2) 社会人入試

出願時に(1)一般入試の出願資格のある者で、2027 年 3 月 31 日において、公的機関、民間企業、非営利組織（NPO 等）で社会人として 2 年以上の経験がある者。

(3) 外国人留学生入試

出願時に(1)一般入試の出願資格のある者で、次の①～③の全てに該当する者。ただし、日本の大学を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者、指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者は除きます。

- ① 日本の国籍を有しない者（ただし、特別永住者を除く）
- ② 出入国管理及び難民認定法において、大学院出願資格に支障のない在留資格（留学等）を有する者及び取得見込みの者
- ③ 次のいずれかに該当する者
 - a. 日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施する「日本語能力試験」の1級又はN1に合格した者
 - b. 日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」を、直近の試験を含む過去2年間のうちに受験し、「読解」・「聴解・聴読解」の合計が240点以上、かつ「記述」の合計が30点以上を得た者

・日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施する「日本語能力試験（1級・N1）」については、下記に照会してください。

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

公益財団法人日本国際教育支援協会 日本語能力試験受付センター

電話 03-6686-2974（直通）

・日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」については、下記に照会してください。

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課

電話 03-6407-7457（直通）FAX 03-6407-7462

(4) 社会人推薦特別入試

出願時に(2)社会人入試の出願資格がある者で、2027年4月1日以降、勤務先に在職のまま通学し、当該勤務先の責任者の推薦書を受けて応募する者

※社会人推薦特別入試は、応募者の業務上の能力向上を目的とした勤務先からの派遣を受け入れるための入試です。推薦書には、大学院における研究と勤務先の業務内容の関係についての記述を含めてください。社会人推薦特別入試での出願を認められた者が受験時までに推薦を受けた勤務先を退職等した場合は、社会人推薦特別入試での受験資格は取り消されます。また、社会人推薦特別入試で受験し合格した者が、入学時までに推薦を受けた勤務先を退職等した場合には、入学後であっても入学は取り消されます。

(5) 国際協力特別入試

出願時に(1)一般入試の出願資格のある者で、入学時までに、青年海外協力隊、外務省専門調査員、国際NGO、海外でのCSR（企業の社会的責任）活動、その他国際協力に関連する機関等で海外における1年以上の国際協力活動の経験を有する者

(6) 教員派遣特別入試

出願時に(1)一般入試の出願資格のある者で、教育公務員「大学院修学休業制度」又は「教員派遣制度」によって応募する者

※ この入試に出願を希望する受験者には、各受験者が利用する制度上の必要に応じて個別に対応しますので、当該受験者は制度に応じた時期に人文社会科学研究科支援室大学院係（9 ページ参照）に連絡してください。

(7) 協定大学推薦留学生特別入試

出願時に(3)外国人留学生入試の出願資格のある者で、海外の協定大学から推薦によって応募する者。この入試に出願するには、埼玉大学と国際交流協定校（一部）の間で、この入試枠を活用することについてあらかじめ承認されていることが必要です。

(8) 英語による教育プログラム（MA Program）特別入試

すべての講義と修士論文指導を英語で行うプログラム（MA Program）のための特別入試です。この募集要項では出願できません。詳細は埼玉大学大学院人文社会科学研究科ホームページ（<https://hss.saitama-u.ac.jp/english/>）を参照してください。

3. 出 願 手 続

(1) 出 願 方 法

入学志願者は、下記の提出書類等を所定の期間内に郵送により提出してください。

郵送は簡易書留郵便として、封筒の表に「人文社会科学研究科（学際系）入学志願書類在中」と朱書してください。

(2) 出 願 期 間

第 1 回入試	2026 年 6 月 15 日（月） ～ 2026 年 6 月 24 日（水）
第 2 回入試	2027 年 1 月 4 日（月） ～ 2027 年 1 月 14 日（木）

※ 期間内必着とします。また、窓口では一切受け付けません。

(3) 提 出 書 類

（○は当該入試区分で必要な書類、△は当該入試区分でいずれか必要な書類、▽は該当者のみ必要な書類、「第2回」は【第2回入試】のみで必要な書類。）

提出書類	注意事項	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	社会人推薦特別入試	国際協力特別入試	教員派遣特別入試	協定大学推薦留学生特別入試
志 願 票 受験票 ・ 写真票	所定の用紙に必要な事項をもれなく記入してください。 顔写真は、出願前 3 ヶ月以内に正面向、上半身、無帽で撮影し、加工を施していない鮮明な写真を使用してください。 また、受験票と写真票には、同じ写真を貼付してください。【注 1】	○	○	○	○	○	○	○
卒業（見込）証明書 成績証明書	出身大学（学部）長等の発行する証明書の原本を提出してください。 ただし、本学教養学部及び経済学部を卒業見込み又は卒業した者は、提出不要です。 中国の大学等（台湾、香港、マカオの大学・大学院は除く。）を卒業した場合は【注 2】に示す書類を提出してください。中国以外の大学等を卒業した者で、英語以外の外国語による卒業証明書・成績証明書を提出する場合は【注 3】に示す書類を提出してください。	○	○	○	○	○	○	○

提出書類	注意事項	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	社会人推薦特別入試	国際協力特別入試	教員派遣特別入試	協定大学推薦留学生特別入試
研究計画書	A4判用紙（縦長・横書）に、本研究科での研究計画を日本語で1,500字程度にまとめたもの。複写して3部又は5部提出してください。【注4】	○ 3部	○ 3部	○ 3部	○ 5部	○ 5部	○ 5部	○ 3部
卒業論文	複写して3部提出してください（A4判）。なお、入学後の研究分野と卒業論文の分野とが大きく異なる場合は、卒業論文に加えて入学後の研究分野に関する論文も提出してください。卒業論文がない場合は、入学後の研究分野に関する論文を提出してください。【注5】	第2回	第2回	第2回				
学位授与証明書又は学位授与申請予定証明書	大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書又は学位の授与を申請する予定である旨を、在籍する短期大学長又は高等専門学校長等が証明したもの。 ※ 一般入試の出願資格②の者（大学改革支援・学位授与機構により学位を授与）のみ該当。【注6】	▽	▽	▽	▽	▽	▽	
推薦書	社会人推薦特別入試に出願する者は所定の用紙に必要事項を明記したもの。協定大学推薦特別入試に出願する者は協定大学が日本語また又は英語で作成したもの（様式任意）。				○			○
在外活動証明書	所定の用紙に必要事項を明記したもの。					○		
国際協力活動の概要	A4判用紙（縦長・横書）に、出願者が行ってきた国際協力活動と研究計画との関連性について具体的に日本語で2,000字程度にまとめたもの。なお、最初のページには氏名、志望専攻名、研究を希望する専門分野名のみを記入してください。複写して5部提出してください。					○		
履歴書	所定の用紙に必要事項を明記したもの。 ※ 外国人留学生入試に出願する者のみ該当。			○				
日本語能力試験の成績	「日本語能力試験」の日本語能力認定書の写しを出願時に提出し、受験時に原本を提示してください。又は「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（本紙）を提出してください。 ※ 外国人留学生入試・出願資格③aの者のみ該当。			△				△
日本留学試験の成績	日本留学試験成績通知書の写しを出願時に提出し、受験時に本紙を提示してください。又は「EJUオンライン」出願・成績確認ページから「成績確認書」を印刷して提出してください。 ※ 外国人留学生入試・出願資格③bの者のみ該当。			△				△

提出書類	注意事項	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	社会人推薦特別入試	国際協力特別入試	教員派遣特別入試	協定大学推薦留学生特別入試
出席状況証明書 又は出席証明書	日本語学校に在籍している場合には、日本語学校が発行する出席状況が確認できる証明書（写し不可）を提出してください。			▽				
在留カードの写し 又は住民票等	出願時に日本国内に在住している者は、在留カードの写し（表裏の両面をコピーしたもの）又は住民票（在留資格及び在留期間の明記されたもの）を提出してください。 なお、出願時に日本国内に在住していない者等、出願時に在留カードの写し又は住民票を提出できない者は、パスポートの写しを提出してください。			○				○
検 定 料	30,000 円 コンビニエンスストアから払い込んでください。 最終ページの「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照のこと。 ※ 出願期間を過ぎた場合は受付できませんので、検定料は早めに払い込みください（出願期間前でも可）。 ※ 海外からの出願者のみクレジットカードが利用可能です。詳細は 9 ページ【連絡先】へ問い合わせてください。	○	○	○	○	○	○	○
収 納 証 明 書 貼 付 用 紙	所定の用紙に、コンビニエンスストアで受け取った「取扱明細書」又は「払込受領証」の「収納証明書」を貼付したもの。	○	○	○	○	○	○	○
定 形 封 筒	受験票送付用。封筒（定形、12.0 cm×23.5 cm）に宛先を明記し、410 円切手を貼付したもの。 なお、郵便料金の改定があった場合は、改定後の料金に相当する切手（定形 50g 以内+速達料金）を貼付してください。	○	○	○	○	○	○	

＜提出書類に関する注意事項＞

* 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、本研究科の行う入学試験の受験を許可しないことがあります。また、入学後でも入学を取り消すことがあります。

【注 1】〔受験票・写真票〕の専門分野欄には、〔志願票〕の専門分野欄で選択した専門分野と同一の専門分野名を記入してください。専門分野は、入学後の研究分野と関連の深いものを選択してください。なお、第 2 回入試では、現段階で専門分野を決められない場合、専門分野「未定」を選択することができます。

【注 2】中国の大学等（台湾、香港、マカオの大学・大学院等は除く。）を卒業した場合は、以下に従ってください。

**中国の大学等を卒業した場合
(台湾、香港、マカオの大学・大学院等は除く。)**

- ・学位取得証明書・成績証明書の提出にあたっては以下の証明書を提出してください（大学等発行の原本の提出は不要です。）。なお、申請から発行までには時間がかかるため、本証明書に限り出願期間前の提出を認めます。

(1) 学位取得証明書

中国高等教育学生信息网（CHSI）又は CHSI 日本代理機構が発行する英文の「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」のコピーを出願書類に同封してください。また、出願締切日までに電子認証報告メールが CHSI から直接、埼玉大学 (jinshaad@gr.saitama-u.ac.jp) に送信されるように手配してください。

(2) 成績証明書

中国高等教育学生信息网（CHSI）又は CHSI 日本代理機構が発行する英文の「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」のコピーを出願書類に同封してください。また、出願締切日までに電子認証報告メールが CHSI から直接、埼玉大学 (jinshaad@gr.saitama-u.ac.jp) に送信されるように手配してください。

- ・申請に関する詳細については、各認証機関のウェブサイトでご確認ください。
 - ・十分な時間的余裕を持って申請してください。各認証機関の発行の遅延により所定の期限までに提出できない場合は、受験を認めないことがあります。
- ※志願者本人が受信した電子認証報告メールの転送は認められません。必ず、認証機関から埼玉大学へメールが直接送信されるように手配してください。
- ・出願時点で卒業見込みであり、上記の手続きができない場合は、所属大学・大学院より発行された中国語の証明書に翻訳公証（公的機関による認証を受けたもの）を添付してください（この場合、「中国語の原本」「翻訳文」「翻訳公証書」の3点を提出してください。）。

【注 3】中国以外の大学等を卒業した者で、提出書類（卒業証明書、成績証明書等）のうち日本語及び英語以外の言語によるものは、日本語又は英語の訳を付け大使館又は本国で認可された公証役場等で公証印を受けてください。

【注 4】「研究計画書の書き方について」（20 ページ）を参照してください。

【注 5】入学後の研究分野に関する論文については、日本語で字数を 10,000 字以上とします。論文の形式については「3. 作成上の注意」（20 ページ）を参照してください。外国語で書かれた卒業論文については、2,000 字程度の日本語要約を当該論文と併せて提出してください。

【注 6】学位取得見込者については、学位取得後、学位授与証明書を速やかに提出してください。なお、学位取得見込者で学位授与申請を行わなかった場合、その他学士の学位を得られないこととなった場合には、その旨を、在籍する短期大学長又は高等専門学校長等を通じ、速やかに本学へ通知してください。

(4) 出願書類送付先

〒 338-8570 さいたま市桜区下大久保 2 5 5

埼玉大学人文社会科学研究科支援室大学院係（学際系）

(5) 注 意 事 項

1. 必要な書類等がすべてそろっていない場合には受理できませんので、出願の際には十分確認してください。
2. 提出された書類等が受理された場合、出願の取り消し・書類の返却はいかなる理由があってもできません。また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

①検定料の返還請求ができるもの

- ア 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
- イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ウ 出願時に検定料免除を申請し、後日、本学に罹災証明書が提出された場合

②返還請求の方法

本学ホームページ（「入試情報」→「入試に関するその他の情報はこちら」→「検定料等の返還について」）より返還請求書をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、「収納証明書」を添付して下記送付先へ、必要に応じて簡易書留等到着が確認できる方法で速やかに郵送してください（封筒には返還請求書在中と記入してください。）。

【返還請求書】 <https://www.saitama-u.ac.jp/media/henkanseikyu.pdf>

送付先 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 2 5 5 埼玉大学財務部経理課出納担当

（返還は、返還請求書到着後 2 ヶ月程度かかる場合があります。）

3. 検定料の免除について

学資負担者が、2026年4月1日から出願時までに災害救助法が適用された地域（災害救助法適用地域）で被災した場合で、地方公共団体が発行する全壊・流失・半壊の罹災証明を得られた志願者の検定料を免除します。

検定料の免除を希望する志願者は、検定料を払わず、本学ホームページから検定料免除願をプリントアウトし、必要事項を記入のうえ、罹災証明書（写しでも可。）を添付して、出願書類と同時に提出してください。

【検定料免除願】 https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/exemption/

なお、出願時に罹災証明書を提出できない場合は、検定料を払い込んだうえ、検定料免除願のみを提出してください。後日、罹災証明書を提出した場合に検定料を還付します。

4. 出願手続後の提出書類記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号及びメールアドレスに変更があった場合には、人文社会科学研究科支援室大学院係まで連絡してください。
5. 提出書類等に虚偽の記載があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
6. 出願手続等に不明な点がある場合は、人文社会科学研究科支援室大学院係に照会してください。ただし、試験内容に関する問い合わせには一切応じません。

【連絡先】

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 2 5 5

埼玉大学人文社会科学研究科支援室大学院係

電話：048-858-3320 Mail：jinshaad@gr.saitama-u.ac.jp

お問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。（平日の 9 時 00 分～17 時 00 分）
（2026 年 8 月 8 日（土）から 2026 年 8 月 18 日（火）、2026 年 12 月 26 日（土）から 2027 年 1 月 3 日（日）の間は、大学院係は閉室となります。）

4. 入試方法ならびに入試日程

【第1回入試】

(1) 入試方法

① 一般入試

入学者の選抜は、学力検査（専門科目の筆記試験）と提出書類に基づく面接を総合して判定します。

② 社会人入試

入学者の選抜は、学力検査（専門科目の筆記試験）と提出書類に基づく面接を総合して判定します。

③ 外国人留学生入試

入学者の選抜は、学力検査（専門科目の筆記試験）と提出書類に基づく面接を総合して判定します。

④ 社会人推薦特別入試

入学者の選抜は、提出書類に基づく面接により判定します。

⑤ 国際協力特別入試

入学者の選抜は、提出書類に基づく面接により判定します。

⑥ 教員派遣特別入試

入学者の選抜は、提出書類に基づく面接により判定します。

⑦ 協定大学推薦留学生特別入試

入学者の選抜は、提出書類の審査を行い、書類審査に合格した者に対してオンラインで実施する面接により判定します。

(2) 入試日程ならびに試験科目

一般入試・社会人入試・外国人留学生入試 () : 配点

期 日	2026年7月25日（土）、26日（日）【注1】	
試験科目	専門科目（150点）【注2】	面接（150点）
時 間	9:00～10:40	出願者に通知します。

社会人推薦特別入試・国際協力特別入試・教員派遣特別入試・協定大学推薦留学生特別入試

期 日	2026年7月25日（土）、26日（日）【注1】【注3】	
試験科目	面接（300点）	
時 間	出願者に通知します。	

【注1】試験日は、7月25日です。ただし応募者多数の場合は25日、26日の二日間になります。

詳細は受験票と同時に発送する「受験案内」によりご連絡します。

【注2】出願時に届け出た専門分野に対応した専門科目の筆記試験を行います（14～15ページの「専攻・専門分野別の筆記試験等の出題内容」を参照）。

(3) 試験会場

埼玉大学内（詳細は受験票と同時に試験実施日1週間程度前までに発送する「受験案内」により確認してください。）

ただし、協定大学推薦留学生特別入試においては、オンラインによる面接を行います。

【第2回入試】

(1) 入試方法

① 一般入試

入学者の選抜は、提出書類の審査とそれに基づく面接を総合して判定します。

② 社会人入試

入学者の選抜は、提出書類の審査とそれに基づく面接を総合して判定します。

③ 外国人留学生入試

入学者の選抜は、提出書類の審査とそれに基づく面接を総合して判定します。

④ 社会人推薦特別入試

入学者の選抜は、提出書類に基づく面接により判定します。

⑤ 国際協力特別入試

入学者の選抜は、提出書類に基づく面接により判定します。

⑥ 教員派遣特別入試

入学者の選抜は、提出書類に基づく面接により判定します。

⑦ 協定大学推薦留学生特別入試

入学者の選抜は、提出書類の審査を行い、書類審査に合格した者に対してオンラインで実施する面接により判定します。

(2) 入試日程ならびに試験科目

一般入試・社会人入試・外国人留学生入試 (): 配点

期 日	2027年2月6日(土)、2月7日(日)【注1】
試験科目	総合(書類審査・面接)(300点)
時 間	出願者に通知します。

社会人推薦特別入試・国際協力特別入試・教員派遣特別入試・協定大学推薦留学生特別入試

期 日	2027年2月6日(土)、2月7日(日)【注1】
試験科目	面接(300点)
時 間	出願者に通知します。

【注1】試験日は、2月6日です。ただし応募者多数の場合は6日、7日の二日間になります。
詳細は受験票と同時に発送する「受験案内」によりご連絡します。

(3) 試験会場

埼玉大学内(詳細は受験票と同時に試験実施日1週間程度前までに発送する「受験案内」により確認してください。)

ただし、協定大学推薦留学生特別入試においては、オンラインによる面接を行います。

5. 合格者発表

(1) 日 時

第 1 回入試	2026 年 8 月 3 日 (月) 14 時 00 分 (予定)
第 2 回入試	2027 年 2 月 22 日 (月) 14 時 00 分 (予定)

(2) 発表方法

合格者の受験番号は、本研究科ホームページ上で発表します。

※ 合格者には、合格通知書及び入学手続に必要な書類を郵送します。

6. 入学手続

(1) 手続方法 郵送による

(2) 手続期限

第1回入試合格者	2026年11月24日（火）必着
第2回入試合格者	2027年3月12日（金）必着

(3) 提出書類 a. 埼玉大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）受験票
b. その他、本学の指定する書類等（合格者に通知します。）

(4) 納付金 入学料 282,000 円【予定額】

- 備考
- 1 上記の手続期限までに入学手続を行わない場合は、入学の意思がなく入学を辞退した者として取り扱います。
 - 2 授業料の予定額は、半期分 321,480 円（年額 642,960 円）です。詳細については合格者に通知します。
 - 3 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されることがあります。
 - 4 入学時には上記入学料のほか、学生教育研究災害傷害保険料など、若干の諸経費が必要となる場合があります。保険金は、本学の教育研究活動中（授業・クラブ活動等の時）に生じた不慮の事故・災害により身体傷害を被った場合並びに、国内において、正課（教育実習、インターンシップ、ボランティア活動を含む。）・学校行事およびその往復途中で、他人に怪我をさせたり、他人の財物を損壊したことにより支払義務を生じる損害賠償金について支払われます。
 - 5 経済的理由等で入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者については、選考のうえ、免除または徴収猶予する制度があります。詳細については合格者にお知らせします。
 - 6 入学手続完了後、令和9年3月31日（水）17時00分までに入学辞退の意思表示をした場合、入学志願者が納付した学生教育研究災害傷害保険料などの返還に応じますが、納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

(5) 長期履修学生制度について

本研究科には、長期履修学生制度があります。

「長期履修学生制度」（21 ページ参照）とは、学生が、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときに、審査のうえ、「長期履修学生」としてその計画的な履修を認める制度です。長期履修学生は、履修期間に応じて、授業料の納付額が変更されます。

7. 出題内容

(1) 専攻・専門分野別の筆記試験等の出題内容（第1回入試のみ）

文化環境専攻

専 門 分 野	① 出題分野、出題形式 ② 外国語問題出題の有無、辞書持込の可否
国 際 関 係 論	① 国際政治学、国際政治経済学、開発経済学、国際開発学、国際協力論の各分野における重要なテーマや概念について論述・説明する問題の中から選択して解答する。 ② 英文解釈問題、ないしは英文の内容を日本語で要約する問題（全分野共通）を出題する。辞書持込不可。
人 類 学 地 理 学	① 文化人類学、地理学の重要な概念について説明させる問題と、特定のテーマについての論述問題を出題する（選択問題）。問題の選択にあたっては、入学後に自分が専門とする分野の問題を選ぶこと。 ② 英文読解の問題を出題する（共通問題）。辞書持込不可。
社 会 学 ・ 心 理 学	① 社会学、心理学についての概念や事象、用語に関する論述問題（選択問題）と、分野全体に関わる基礎知識を問う英文読解の問題（共通問題）を出題する。 ② 英文読解の問題を出題する。辞書持込不可。
哲 学	① 哲学史上の重要概念について説明させる問題、特定のテーマについての論述問題を出題する。 ② 英語の短文を翻訳する問題を出題する。辞書持込不可。
歴 史 学 (西洋史・考古学)	① 歴史学全体に関わる論述問題（共通問題）と、西洋史、考古学の各分野の史料を読解・解釈させる論述問題（選択問題）を出題する。 ② 選択問題の設問中に、関連外国語や資料の読解力が必要とされる部分が含まれる。辞書持込不可。
芸 術 論	① 芸術論に関わる特定のテーマについての論述問題を出題する。 ② 英文解釈問題を出題する。辞書持込不可。
欧 米 文 化	① 欧米文化・文学についての基礎知識・論述能力を見る。特定のテーマについての論述問題（選択問題）と、重要な概念・人名・事件等についての説明を求める問題（選択問題）を出題する。 ② 英語、ドイツ語、ロシア語のうち、いずれか一つの語学力を見る問題を出題する。辞書持込不可。

国際日本アジア専攻

専 門 分 野	① 出題分野、出題形式 ② 外国語問題出題の有無、辞書持込の可否
日 本 語 学	① 日本語学に関する基本的な知識を問う。特定のテーマについての論述を求める大問題（3題から2題を選択）と、基礎知識についての説明を求める小問題（4題）を出題する。 ② 外国語問題は出題しない。辞書持込不可。
日 本 文 学	① 日本文学に関する基礎的知識を見る。説明問題2題（古典文学領域・近現代文学領域、各1題。全員必答）、及び、論述問題1題（古典文学領域1題、近現代文学領域1題、日本文化領域1題。この中から任意の1題を選択）を出題する。 ② 外国語問題は出題しない。辞書持込不可。
東アジア文化	① 東アジア文化（韓国文化、中国古代文化、中国文学）に関する基礎知識を見る問題及びそれぞれの専門研究を行う上で必要とされる学力を確かめる問題（選択問題）を出題する。 ② 問題中に「韓国語」、「中国語」又は「漢文」の読解力が必要とされる部分がある。辞書持込不可。
歴 史 学 (日本史・東洋史)	① 歴史学全体に関わる論述問題（共通問題）と、日本史・東洋史の史料を読解・解釈させる論述問題（選択問題）を出題する。 ② 選択問題の設問中に、関連外国語や古文書の読解力が必要とされる部分が含まれる。辞書持込不可。

(2) 専攻・専門分野別の面接等の内容（第1回入試・第2回入試共通）

文化環境専攻

専 門 分 野	内 容
国 際 関 係 論	・ 提出書類に基づく面接試験 ※ 英語能力を問うことがある。
人 類 学 地 理 学	・ 提出書類に基づく面接試験 ※ 英語能力を問うことがある。
社 会 学 ・ 心 理 学	・ 提出書類に基づく面接試験 ※ 英語能力を問うことがある。
哲 学	・ 提出書類に基づく面接試験
歴 史 学 (西洋史・考古学)	・ 提出書類に基づく面接試験 ※ 日本語を除く外国語能力検定試験の検定スコアを持つ 受験者は、その証明書を持参すること。 ※ 史料（関連外国語）の読解力を問うことがある。
芸 術 論	・ 提出書類に基づく面接試験 ※ 研究テーマに関連する知識及び研究遂行力を問うこと がある。
欧 米 文 化	・ 提出書類に基づく面接試験

国際日本アジア専攻

専 門 分 野	内 容
日 本 語 学	・ 提出書類に基づく面接試験
日 本 文 学	・ 提出書類に基づく面接試験
東アジア文化	・ 提出書類に基づく面接試験
歴 史 学 (日本史・東洋史)	・ 提出書類に基づく面接試験 ※ 日本語を除く外国語能力検定試験の検定スコアを持つ 受験者は、その証明書を持参すること。 ※ 史料（関連外国語や古文書）の読解力を問うことがある。

* 出願資格⑨～⑭に関する出願資格審査について

一般入試の出願資格⑨～⑭（2 ページ参照）で出願しようとする者は、次の書類を提出期間内に本研究科に郵送してください。

1. 提出書類

出願資格⑨～⑬で出願しようとする者【注 1】

- (1) 入学試験出願資格個別審査申請書・・・・・・・・・・・・・・・・（所定用紙）
- (2) 成績証明書【注 2】
- (3) 在籍証明書（在籍期間の日付が記載されたもの）【注 2】
- (4) 受験承諾書（学長又は所属の長）・・・・・・・・・・・・・・・・（様式任意）
- (5) 本研究科で学びたい分野に関連する論文（日本語で 7,000 字以上）

出願資格⑭で出願しようとする者

- (1) 入学試験出願資格個別審査申請書・・・・・・・・・・・・・・・・（所定用紙）
- (2) 成績証明書【注 2】
- (3) 卒業証明書又は在籍証明書（入学から卒業までの日付が記載されたもの）【注 2】
- (4) 本研究科で学びたい分野に関連する論文（日本語で 7,000 字以上）

2. 提出期間

第 1 回入試：2026 年 6 月 1 日（月）～2026 年 6 月 8 日（月）必着

第 2 回入試：2026 年 12 月 1 日（火）～2026 年 12 月 8 日（火）必着

【注 1】 上記の出願資格⑨～⑬に関する個別審査基準

次の 1～2 の全てに該当する者

1. 入学時に在学期間が 3 年間（休学期間は除く）に達した者
2. 3 年次前期終了時に 4.0 スケールで GPA 3.0 以上であること。

ただし、次の事項に注意してください。

- a. 入学試験に合格した者が、上記 1 及び 2 に定める所定の単位と成績を得られないときは合格を取り消します。
- b. 出願資格⑨により入学する者は、学部学生としての学籍上の身分は退学となります。したがって学部卒業が要件となる各種資格及び受験資格はなくなりますので十分注意してください。

【注 2】 「成績証明書」、「卒業証明書」及び「在籍証明書」に関しては、入学試験出願資格審査の際の提出書類は写しでも可。ただし、出願時には原本を提出してください。

※ 出願は郵送のみとし、窓口では一切受け付けません。

※ 不明な点は、人文社会科学研究科支援室大学院係に問い合わせてください。（9 ページ【連絡先】参照）

* 障がい等のある入学志願者の事前相談について

本学に出願を希望する者で、身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により本学へ事前相談の申請を行ってください。

なお、不明な点又は事前相談の締切日までに申請することができない場合には事前相談担当までご相談ください。

事前相談担当：埼玉大学大学院人文社会科学研究科支援室大学院係
電話 048-858-3320（平日 9 時 00 分～17 時 00 分）
Mail : jinshaad@gr.saitama-u.ac.jp

（１）申請方法

申請する場合は、簡易書留郵便とし、「受験上及び修学上の配慮申請書類在中」と封筒に朱書の上、次の①②を提出してください。

提出された書類に基づき、希望する配慮について審査を行います。なお、審査の過程において、本人、保護者又はその立場を代弁しうる者との照会をする場合があります。

①埼玉大学入学者選抜試験受験上及び修学上の配慮申請書（本学所定の用紙）

申請用紙は埼玉大学ホームページからダウンロードして入手してください。

https://www.saitama-u.ac.jp/entrance/exam_info/consultation/

②医師の診断書（障がいの程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

発行後 6 ヶ月以内の原本を提出してください。

【申請書提出先】〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 2 5 5

埼玉大学大学院人文社会科学研究科支援室大学院係

（２）申請書提出時期

第 1 回入試は 2026 年 5 月 29 日（金）、第 2 回入試は 11 月 27 日（金）までを目安としますが、それ以降でも相談が可能な場合に限り対応します。ただし、障がいの程度が重度な場合には審査に時間を要することがありますので、できるだけ早めに申請してください。

（３）出願時の手続

①この申請で受験許可を得た者は、出願書類を郵送後、その旨を上記の事前相談担当に連絡してください。

②この申請で受験許可を得た者が、出願を辞退、又は出願したが受験しない場合は、速やかに上記の事前相談担当に連絡してください。

* インフルエンザ等罹患者への対応について

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が感染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分にご注意ください。

* 入試情報の開示について

埼玉大学大学院人文社会科学研究科博士前期課程文化環境専攻及び国際日本アジア専攻・日本アジア文化コースでは、2027 年度入試情報を次のとおり開示し、提供します。

(1) 開示対象者

本募集要項による入試を受験し、不合格となった受験者本人に限ります。

(2) 請求に基づき開示する情報

第 1 回入試：筆記試験・面接試験の得点

第 2 回入試：書類審査・面接試験の得点

(3) 開示請求方法

申 請 者 受験者本人に限ります。

申請方法 以下の①②③を同封した封筒を下記申込先まで郵送又は持参してください。

①「埼玉大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）入試情報開示申請書」（本学生募集要項に添付）

②返信用封筒（長形 3 号封筒に 460 円分の切手を貼付し、「簡易書留」と朱書）

③本学の受験票（本人確認のため、正本に限る。コピー不可）

※受験票は、開示情報の通知とともに返却します。

申請期間 2027 年 5 月 6 日（木）～5 月 12 日（水）

申 請 先 〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 2 5 5

埼玉大学大学院人文社会科学研究科支援室大学院係

※「入試情報開示請求」と朱書きすること。

提供方法 ②の返信用封筒により、簡易書留にて郵送します。

* 個人情報の保護について

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人埼玉大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

(1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報、入学者選抜に用いた出願書類及び試験成績は、以下の目的のために利用します。

① 入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格者発表、入学手続業務

② 入学者のみ、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、授業料徴収に関する業務

③ 入学者選抜及び広報に関する調査・分析・検討

(2) 上記（1）の各種業務での利用にあたっては、本学より一部の業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

* 安全保障輸出管理について

埼玉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき「国立大学法人埼玉大学安全保障輸出管理規則」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から、学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

外国人留学生及び特定類型該当者（外国政府の影響下にある居住者など）が、規制事項に該当すると判断された場合は、合格後であっても入学を許可しないことや、入学後の研究活動を制限することがありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理規則を参照してください。

<https://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-3-16.pdf>

* 研究計画書の書き方について

「研究計画書」には必ず以下の点について、それぞれ見出しを付けて記述してください。それ以外の点についても、必要があれば記述してください。

1. 基本的事項

「研究計画書」には、次の事項のみを記入した表紙を付けてください。

- a. 氏名
- b. 志望専攻名
- c. 研究を希望する専門分野名
 - ・受験する専門分野を1つ記入してください。専門分野は志願票・受験票と同一であること。
 - ・第2回入試では、現段階で専門分野を1つに決められない場合は、「専門分野未定」と記入してください。
- d. 希望する指導教員
 - ・指導教員は入学後、研究科教授会において決定されますが、現段階で希望する指導教員がある場合は、その教員名を記入してください。希望する指導教員は、志願票と同一であること（2名まで）。
 - ・現段階で指導教員を選べない場合は、記入不要です。
- e. 研究題目（例えば「〇〇がなぜ生じるのかについての理論的な解明」とか、「日本の〇〇はどのように形成されたのか — 〇〇を中心に」などのように、具体的に記載すること）

2. 研究背景、着想に至るまでの経緯、研究のための準備状況と研究方法

- a. なぜこのような研究題目にしたのかという理由を書いてください。例えば、「学部時代に〇〇理論を勉強するなかで、〇〇現象、〇〇問題を理論的に解明したいという意欲が湧いてきて、『〇〇現象（問題）がなぜ生じるのかについての理論的な解明』という研究題目を設定した」、あるいは「現在、社会人として〇〇の仕事をしており、〇〇の視点と〇〇の方法から〇〇についてより詳しく研究すれば、それが〇〇に役立つと思い、『日本の〇〇はどのように形成されたのか — 〇〇を中心に』という研究題目を設定した」など、具体的に記述してください。
- b. その研究題目についてのこれまでの準備状況（学修歴、読んだ文献など）を記述してください。
- c. どのような文献や資料を利用するのか、又はどのような調査をするのかということについて、具体的に記述してください。また、どのような方法によって研究するのかについて具体的に書いてください（入学後に計画・方法が変更されることはありえますが、現時点で考えている研究計画と方法を書いてください。）。

3. 作成上の注意

研究計画書では参考にしたたり引用したりした資料（本、論文等）について、必ずその書誌情報（著者名、書名・論文名、出版年、出版社、雑誌の場合は掲載誌名）と、引用箇所のページ数を明示してください。Webサイト上の情報を参考にした場合も、そのURL、サイト名、サイトの作成者、閲覧日時・最終更新日時などを明記してください。また、引用・要約した箇所については、それがわかるようにしてください。出願時に提出する卒業論文、あるいはこれに代わる論文においても同様です。

なお、研究計画書の作成において生成AIを利用することを禁止します。

* 長期履修学生制度について

本研究科には長期履修学生制度があります。

1. 長期履修学生制度とは

職業を有しているなどの理由により、標準修業年限（2年間）で修了が難しい場合、その修業年限を延長し、一定の期間（最長4年間）内で計画的にカリキュラムを履修することにより、修了することができる「長期履修学生制度」を適用することができます。

この「長期履修学生制度」を申請する場合は、入学手続きの際に申請をする必要があります。

2. 長期履修学生制度への申請資格

次の（1）及び（2）を充たすことが申請の条件です。

（1）次のいずれかに該当すること

- a. 新たに大学院人文社会科学部研究科に入学（進学を含む。）する者
- b. 既に入学し、入学後1年未満である者

（2）次のいずれかに該当し、標準修業年限内での修学が困難であること

- a. 職業を有し、就業している者（自営業及び臨時雇用（単発的なものを除く。）を含む。）
- b. 家事、育児、介護等の事情を有する者
- c. 身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む。）その他の心身の機能の障がいがあるため長期にわたり修学に相当な制限を受けると認められる者
- d. その他学長が相当と認めた者

3. 長期履修を認める期間

長期履修を認める期間の上限は、入学から通算して4年です。

4. その他

- ・申請者は決められた期間に必要な書類を提出し、審査を受けなければなりません。
- ・長期履修を認められた後に履修期間を変更する申請をすることもできます。
- ・本制度の趣旨に沿わない理由での申請は対象外となります。

* 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の実施について

本研究科では、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を実施しています。対象は、社会人入試、社会人推薦特別入試及び国際協力特別入試で出願・合格し、入学後も勤務を継続する者です。入学手続き時に特例の実施を申し出て、研究科が認める必要があります。

特例の対象者には、それぞれの勤務状況にあわせて、履修科目の時間割変更（夜間開講：18時00分～19時30分、土曜開講を含む。）、又は遠隔方式の授業開講等を実施します。

* 教育職員免許状（専修免許状）について

本研究科博士前期課程においては、国語・社会・英語の中学校教諭専修免許状及び国語・地理歴史・公民・英語の高等学校教諭専修免許状の授与資格を取得できます（別途要件充足と個人申請が必要です）。

専攻	免許状の種類（教科）
文化環境専攻	中学校教諭専修免許状（社会・英語） 高等学校教諭専修免許状（地理歴史・公民・英語）
国際日本アジア専攻	中学校教諭専修免許状（国語） 高等学校教諭専修免許状（国語）

＊ 研究科教員の主な研究領域

【専攻】文化環境

《コース》グローバル・ガバナンス

〔専門分野〕国際関係論

専任教員	主な研究領域
草野 大希	国際政治学、アメリカ外交、国際システム論
近藤 久洋	国際開発学、ガバナンス、新興ドナー
サムレト, ソワンルン	開発経済学（マクロ開発経済学、マクロ金融論、農村経済学）
東 智美	東南アジア地域研究、国際開発学、農村社会学
藤田 泰昌	国際関係論（データ分析）

《コース》現代社会

〔専門分野〕人類学地理学

専任教員	主な研究領域
市川 康夫	地誌学、フランス地域研究
井口 欣也	文化人類学・アンデス先史学
キーナー ヨハネス	人文地理学、都市社会学
松宮 邑子	人文地理学、モンゴル地域研究
三浦 敦【2029年3月まで指導可】	社会人類学・農村開発研究

〔専門分野〕社会学・心理学

専任教員	主な研究領域
大茂矢 由佳	人の国際移動
小杉 亮子	社会学、社会運動論
定松 淳	科学社会学、環境社会学
佐藤 雅浩	歴史社会学、医療社会学、社会問題の構築主義
長沢 誠	比較高等教育論、高等教育政策、大学国際化
萩生田 伸子	行動科学方法論

《コース》哲学歴史

〔専門分野〕哲学

専任教員	主な研究領域
高橋 克也	近代ドイツ・フランス哲学、認識論、実存哲学
川島 彬	古代ギリシア哲学・認識論、形而上学、倫理学、魂論

〔専門分野〕歴史学（西洋史・考古学）

専任教員	主な研究領域
市橋 秀夫【2028年3月まで指導可】	近現代イギリス社会史、現代文化研究、社会運動史
中村 大介	東アジア考古学、金属器、葬制

〔専門分野〕芸術論

専任教員	主な研究領域
辻 絵理子	西洋美術史、ビザンティン美術、キリスト教図像学
清水 紀枝	日本・東洋美術史、仏教美術史

《コース》 ヨーロッパ・アメリカ文化

〔専門分野〕 欧米文化

専任教員	主な研究領域
高畑 悠介	イギリス文学
野中 進	ロシア文学、ロシア文化、文学理論
野村 奈央	アメリカ研究、アメリカ文化論、マテリアル・カルチャー研究
松原 良輔	ドイツ文学、ドイツ語圏の文化
宮田 伊知郎	アメリカ研究、アメリカ史

【専攻】国際日本アジア

《コース》日本アジア文化

〔専門分野〕日本語学

専任教員	主な研究領域
市江 愛	日本語教育学、第二言語習得研究
金井 勇人	日本語学、日本語教育
川野 靖子	日本語学（文法論、意味論）
鮮于 媚	日本語音声教育、CALL 教育、音響音声学
劉 志偉	日本語教育学、日本語文法研究史、日中対照研究

〔専門分野〕日本文学

専任教員	主な研究領域
新井 高子	日本近現代詩、60 年代戯曲
ザラパップ, ジリア	メディア学、美術史
杉浦 晋【2028年3月まで指導可】	日本近現代文学
舘野 文昭	日本中世文学、和歌文学
ビュールク, トーヴェ	日本近世文学、伝統芸能、歌舞伎

〔専門分野〕東アジア文化

専任教員	主な研究領域
栗山 雅央	中国文学
西山 尚志	中国古代思想史、中国出土文献研究、近現代東アジア学術史
柳川 陽介	韓国近現代文学

〔専門分野〕歴史学（日本史・東洋史）

専任教員	主な研究領域
井上 史	日本史、日米関係史
一ノ瀬 俊也	日本近現代史、軍事史、社会史
井上 智勝	東アジア宗教社会史・日本近世史
久保 茉莉子	中国近現代史、法制史、中国法

※ 各教員のプロフィールについては「埼玉大学研究者総覧」（下記 URL）から検索できます。

<https://rdb.eva.saitama-u.ac.jp/search/group-search.html?lang=ja>

所定用紙

＜記入上の一般的な注意事項＞

1. 各用紙は切り取り線以外では折らないでください。
2. 黒のペン又はボールペンを使用し、文字は楷書、数字は1.2.3.……の算用数字を用いて、ていねいに記入してください。
3. 該当個所にもれなく記入、又は○で囲んでください。また※欄は記入しないでください。
4. 年月日等を記入する欄は、西暦を基本としますが、昭和・平成等の元号で記入しても差し支えありません。
5. 出願手続後の願書記載事項の変更は認めません。ただし、住所、電話番号及びメールアドレスに変更があった場合には、人文社会科学研究科支援室大学院係（9 ページ【連絡先】）まで連絡してください。
6. 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、本研究科の行う入学試験の受験を許可しないことがあります。また、入学後でも入学を取り消すことがあります。

志 願 票

＜志願票の記入に関する注意事項＞

高等学校卒業以後の学歴・職歴（勤務先名称）の様式については、該当がなくても志願票の裏面に印刷してください（両面印刷）。

1. 【氏名欄】

氏名が改姓により成績証明書等と異なる者は、（ ）内に「旧姓」等を併せて記入してください。

2. 【入試区分欄】

該当する番号いずれか一つを○で囲んでください。

3. 【専攻・専門分野欄】

受験する専攻に○を付してください。

専門分野一つを選択して○で囲んでください。第1回入試では、○で選択した専門分野以外の受験はできません。第2回入試では、現段階で専門分野一つを決められない場合、「未定」を選択することができます。

4. 【指導教員】

現段階で希望する指導教員がいる場合は、その教員名を記入してください（2名まで）。その際、志望する専攻、専門分野に対応していることを確認してください。もし、希望する指導教員がいない場合は、記入しなくても構いません。

5. 【現住所欄】

出願後連絡のとれる住所を記入してください。

※TEL（出願後連絡のとれる電話番号）、メールアドレスも必ず記入してください。

6. 【合格通知書受信場所欄】

合格通知書等を確実に受信できる住所を記入してください。提出後、変更のある場合は、直ちに連絡してください。

7. 【高等学校卒業以後の学歴・職歴欄】

高校卒業後から現在（出願時）に至るまでの経歴について詳記してください。

第1回入試用

2027 年度 志 願 票

埼玉大学大学院人文社会科学研究科

フリガナ		性 別 男 ・ 女	※ 受験番号 (記入しないこと)
氏 名			入試区分 (該当する番号を○で囲むこと) 1 一 般 入 試 2 社会人入試 3 外国人留学生入試 4 社会人推薦特別入試 5 国際協力特別入試 6 教員派遣特別入試 7 協定大学推薦留学生特別入試
(フリガナ)	()		
(旧姓)	()		
生 年 月 日	年 月 日 生		

出身大学等	大 学	学 校 名	国立・公立・私立	大学
		卒 業 (見込)	年 月 日	卒業・卒業見込
	大 学 院	学 校 名	国立・公立・私立	大学大学院
		所 在 地	研究科	専攻
		卒 業 (見込)	年 月 日	修了・修了見込

専攻・専門分野	文 化 環 境 専 攻 全コース	国際関係論／人類学地理学／社会学・心理学／哲学／歴史学 (西洋史・考古学)／芸術論／欧米文化
	国際日本アジア専攻 日本アジア文化コース	日本語学／日本文学／東アジア文化／歴史学 (日本史・東洋史)

当研究科入学後に予定している研究について	
①研究題目：	
②内容説明：	
希望する指導教員名 (2名まで記入可)	

現 住 所	〒	都・道・府・県	郡・市・区	町・村
	TEL	—	—	メールアドレス
合格通知書受信場所	〒	都・道・府・県	郡・市・区	町・村
	TEL	—	—	

		高等学校卒業以後の学歴・職歴（勤務先名称）	
年	月	立	高等学校 卒業
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		

有職者は以下の欄に記入してください。

現 職 名		勤務先名	
勤務先住所	〒 電話（ ） —		

第2回入試用

2027 年度 志 願 票

埼玉大学大学院人文社会科学研究科

フリガナ		性 別 男 ・ 女	※ 受験番号 (記入しないこと)
氏 名			入試区分 (該当する番号を○で囲むこと) 1 一 般 入 試 2 社会人入試 3 外国人留学生入試 4 社会人推薦特別入試 5 国際協力特別入試 6 教員派遣特別入試 7 協定大学推薦留学生特別入試
(フリガナ)	()		
(旧姓)	()		
生 年 月 日	年 月 日 生		

出身大学等	大 学	学 校 名	国立・公立・私立	大学
		卒 業 (見込)	年 月 日	卒業・卒業見込
	大 学 院	学 校 名	国立・公立・私立	大学大学院
		所 在 地	研究科	専攻
		卒 業 (見込)	年 月 日	修了・修了見込

専攻・専門分野	文 化 環 境 専 攻 全コース	国際関係論／人類学地理学／社会学・心理学／哲学／ 歴史学 (西洋史・考古学)／芸術論／欧米文化／未定
	国際日本アジア専攻 日本アジア文化コース	日本語学／日本文学／東アジア文化／ 歴史学 (日本史・東洋史)／未定

当研究科入学後に予定している研究について

①研究題目：

②内容説明：

希望する指導教員名 (2名まで記入可)

現 住 所	〒	都・道・府・県	郡・市・区	町・村
	Tel	—	—	メールアドレス
合格通知書受信場所	〒	都・道・府・県	郡・市・区	町・村
	Tel	—	—	

		高等学校卒業以後の学歴・職歴（勤務先名称）	
年	月	立	高等学校 卒業
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		

有職者は以下の欄に記入してください。

現 職 名		勤務先名	
勤 務 先 所 住	〒 電話（ ） —		

第1回入試用

受験票・写真票

<受験票・写真票の記入に関する注意事項>

1. 【入試区分欄】

該当する入試区分の番号（〔志願票〕で選択した入試区分と同一のもの）を○で囲んでください。

2. 【専攻・専門分野欄】

〔志願票〕と同一の専攻・専門分野名を記入してください。

3. 【日本語資格欄】

外国人留学生入試に出願した者は、日本語資格名（日本語能力試験、日本留学試験のいずれか）を記入してください。

第1回

2027年度

埼玉大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）

受験票

入試区分 （該当番号に○）	1 一般入試 2 社会人入試 3 外国人留学生入試 4 社会人推薦特別入試 5 国際協力特別入試 6 教員派遣特別入試 7 協定大学推薦留学生特別入試
受験番号	※ （記入しない）
フリガナ	
氏名	
専攻	専攻
専門分野	
日本語資格	（外国人留学生入試に出願した者のみ）
1. 受験の際は この受験票を必ず持参してください。 2. この受験票は入学時まで保存してください。 写真貼付 出願3ヶ月以内に撮影した脱帽上半身のもの (縦4センチ・横3センチ)	



第1回

2027年度

埼玉大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）

写真票

きり
と
な
い
こ
と

入試区分 （該当番号に○）	1 一般入試 2 社会人入試 3 外国人留学生入試 4 社会人推薦特別入試 5 国際協力特別入試 6 教員派遣特別入試 7 協定大学推薦留学生特別入試
受験番号	※ （記入しない）
フリガナ	
氏名	
専攻	専攻
専門分野	
日本語資格	（外国人留学生入試に出願した者のみ）
写真貼付 出願3ヶ月以内に撮影した脱帽上半身のもの (縦4センチ・横3センチ)	

第2回入試用

受験票・写真票

＜受験票・写真票の記入に関する注意事項＞

1. 【入試区分欄】

該当する入試区分の番号（〔志願票〕で選択した入試区分と同一のもの）を○で囲んでください。

2. 【専攻・専門分野欄】

〔志願票〕と同一の専攻・専門分野名を記入してください。

3. 【日本語資格欄】

外国人留学生入試に出願した者は、日本語資格名（日本語能力試験、日本留学試験のいずれか）を記入してください。

第2回

2027年度

埼玉大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）

受験票

入試区分 (該当番号に○)	1 一般入試 2 社会人入試 3 外国人留学生入試 4 社会人推薦特別入試 5 国際協力特別入試 6 教員派遣特別入試 7 協定大学推薦留学生特別入試
受験番号	※ (記入しない)
フリガナ	
氏名	
専攻	専攻
専門分野	
日本語資格	(外国人留学生入試に出願した者のみ)
1. 受験の際はこの受験票を必ず持参してください。 2. この受験票は入学時まで保存してください。 写真貼付 出願3ヶ月以内に撮影した脱帽上半身のもの (縦4センチ・横3センチ)	

○

第2回

2027年度

埼玉大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）

写真票

入試区分 (該当番号に○)	1 一般入試 2 社会人入試 3 外国人留学生入試 4 社会人推薦特別入試 5 国際協力特別入試 6 教員派遣特別入試 7 協定大学推薦留学生特別入試
受験番号	※ (記入しない)
フリガナ	
氏名	
専攻	専攻
専門分野	
日本語資格	(外国人留学生入試に出願した者のみ)
写真貼付 出願3ヶ月以内に撮影した脱帽上半身のもの (縦4センチ・横3センチ)	

推 薦 書 （社会人推薦特別入試用）

埼玉大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）

フリガナ			
氏 名	年 月 日生		
現勤務先における経歴と勤務形態			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
勤 務 形 態			
推 薦 理 由			

本書の記載事項に誤りのないことを証明します。

年 月 日
勤務先名・所在地・電話

責 任 者 印

※「社会人推薦特別入試」での出願を希望する者のみ提出してください。
推薦理由には、大学院における研究と勤務先の業務内容の関係についての記述を含めてください。

在外活動証明書 (国際協力特別入試用)

埼玉大学大学院人文社会科学研究科 (博士前期課程)

フリガナ			
氏 名	年 月 日生		
所属機関における在外活動に関わる経歴と活動内容			
年 月 日～	年 月 日		
年 月 日～	年 月 日		
年 月 日～	年 月 日		
年 月 日～	年 月 日		
年 月 日～	年 月 日		
年 月 日～	年 月 日		
累計在外期間	年	ヶ月	

上記の記載事項に誤りのないことを証明します。

年 月 日
所属機関名称

所在地

電話

責 任 者 印

※「国際協力特別入試」での出願を希望する者のみ提出してください。

履 歴 書 (外国人留学生入試用)

年 月 日現在

埼玉大学大学院人文社会科学研究科 (博士前期課程)

フリガナ		性 別
氏 名 (自国語)		男 ・ 女
英字名 (パスポート標記と同じ)		国 籍
生 年 月 日	年 月 日生 (歳)	
現 住 所	〒 TEL — — 自宅・呼出 (方)	
自国の住所		

学 歴

	学 校 名 ・ 所 在 地	修業年限	入学及び卒業又は修了年月
小 学 校 (初等教育)	学校名	年	入 学 年 月
	所在地		卒・修 年 月
中 学 校 (中等教育)	学校名	年	入 学 年 月
	所在地		卒・修 年 月
高等学校 (中等教育)	学校名	年	入 学 年 月
	所在地		卒・修 年 月
大 学 (高等教育)	学校名	年	入 学 年 月
	所在地		卒・修 年 月
	学校名	年	入 学 年 月
	所在地		卒・修 年 月
	学校名	年	入 学 年 月
	所在地		卒・修 年 月

日本語の学習歴

	学 校 名 ・ 所 在 地	修業年限	入学及び修了年月
日本語学校	学校名	年	入 学 年 月
	所在地		修 了 年 月
そ の 他	学校名	年	入 学 年 月
	所在地		修 了 年 月

【注】学歴欄は小学校から最終学校まで詳しく記入してください。

※このページと次のページを両面印刷し、必要事項を記入してください。

学歴（初等教育を含め、卒業・修了・在学中のすべての学歴を記入すること）

[illegible]

職 歷

[illegible]

入学試験出願資格個別審査申請書

年 月 日

埼玉大学大学院人文社会科学研究科長 殿

私は、出願資格の個別審査を受けたいので、申請いたします。

出願資格 (該当する出願資格を○で囲むこと)	出願資格⑨～⑬ / 出願資格⑭
志望専攻	専 攻
フリガナ	
氏 名	
生年月日	年 月 日
現 住 所	〒 TEL - - メールアドレス
出願資格審査 結果送付先	〒 TEL - -
添付書類	「出願資格⑨～⑭に関する出願資格審査について」(17ページ)の記載事項を確認し、提出する書類に○を付けてください。 ・ 成績証明書 ・ 在籍証明書 ・ 論文 ・ 卒業証明書 ・ 受験承諾書

収納証明書貼付用紙

収納証明書貼付欄



コンビニで支払った場合は、コンビニで
受け取った取扱明細書又は取扱明細書兼
領収書から「収納証明書」部分を切り
取り、点線の中にはがれないようにし
っかりと貼り付けること。

※「感熱・感圧紙などを変色させることがあります」
と記載のある糊は使用しないこと。

大学使用欄

※ 経理課確認欄	※ 研究科受付欄

年 月 日

申請者
(〒 —)
住所

氏名

電話番号

記

受 験 番 号	
志 望 専 攻	専攻 コース
情 報 開 示 を 申 請 す る 内 容	・文化環境専攻全コース及び国際日本アジア専攻日本アジア文化コースの受験者 第1回入試：筆記試験・面接試験の得点 第2回入試：書類審査・面接試験の得点

以上

確 1. 受験票
認 2. 身分証明書 ()
受理日 年 月 日

受付番号

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

1 お申込みの前に

お支払い手続きの途中で「8桁の番号」の入力が求められます。
出願書類に記載したいいずれかの電話番号の下8桁を入力してください。
例：07012345678 の場合 → 12345678
0481234567 の場合 → 81234567

電話番号メモ
(8桁)

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON
Loppi

MINISTOP
Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

埼玉大学大学院

をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、
30分以内にレジにてお支払いください。



②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。



*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料が5万円未満	605円(税込)
-------	-------------	----------

3 出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の
「収納証明書」部分を切り取り、
募集要項などの指示に従って郵送してください。
(※お客様控えは、郵送せずお手元大切に保管してください。)

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は
使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※申込み時に入力した**8桁の番号**が
収納証明書に印字されていることを
確認してください。

【入試・出願に関するお問い合わせ先】 募集要項に記載の連絡先へお問い合わせください。

【入学検定料の払込に関するお問い合わせ先】 埼玉大学 経理課出納担当 TEL 048-858-3942 (受付時間) 平日9:00~17:00

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/e/guide/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。